

令和7年度学校関係者評価委員会

1. 開会・資料確認
2. 学校長挨拶
3. 令和6年度実績と評価
令和6年度自己点検・自己評価結果説明・審議
4. 質疑応答
5. 令和7年度学生支援トピックス
6. その他
7. 意見聴取
8. 閉会



社会医療法人 母恋
日鋼記念看護学校

令和7年12月10日(水)

令和6年度実績と評価

項目

1.経営の安定化を図る

在籍者数・入学者数・職員適正人員・経営収支

2.経営基盤の整備

学生募集活動・就職進学状況

3.学習環境の整備

施設管理・感染対策(病院と連携)・修学支援(経済面)

4.教育活動の質の向上

授業調整・教員の研修・研究発表

令和6年度学校教職員

- 学校長(専任)
- 教務主任
- 専任教員 11名(アルバイト1名含む)
 看護部から異動
 10/1付 田邊晴恵さん
 R7.3/1付 阿部はるひさん
- 実習指導教員 0名(令和5年度末で2名退職)
- 事務 2名(事務長、事務員1名)

令和7年度学校教職員

- 学校長(専任)
 - 教務主任 2名体制
4/1付 副看護部長異動
 - 専任教員 11名(パート勤務1名含む)
 - 事務 3名(事務長、事務員1名、相談役)
4/1付事務長就任 病院兼務(12月末退職)
12/1付事務長就任 法人本部兼務
4/1付 病院事務から事務員1名異動
4/1付 相談役
 - 図書司書 1名(病院兼務)
- * 専任教員1名 大学院2年目(勤務しながら通学)

1.経営の安定化を図る

目標値	結果
・ 在籍者数180名 ・ 入学者数60名以上 ・ 休学 ・ 退学 ・ 経常収支	・ 在籍者数 162名→3月158名 ・ 入学者数 33名 ・ 休学 1名（3年生） ・ 退学 4名（3年生1名・2年生3名・1年生1名）＊いずれも進路変更 ・ 令和6年度は、学生数が予算を下回ったことで授業料収入が減少し収支はマイナスとなった。

西胆振地域の看護学校における課題

＜西胆振地域の現状＞

18歳人口の減少、室蘭市の人口減少
札幌市への流出、大学進学者の増加

令和6年度西胆振入学者の減少

日鋼記念看護学校

33名

市立室蘭看護専門学院

48名

苫小牧看護専門学校

60名

浦河赤十字看護専門学校

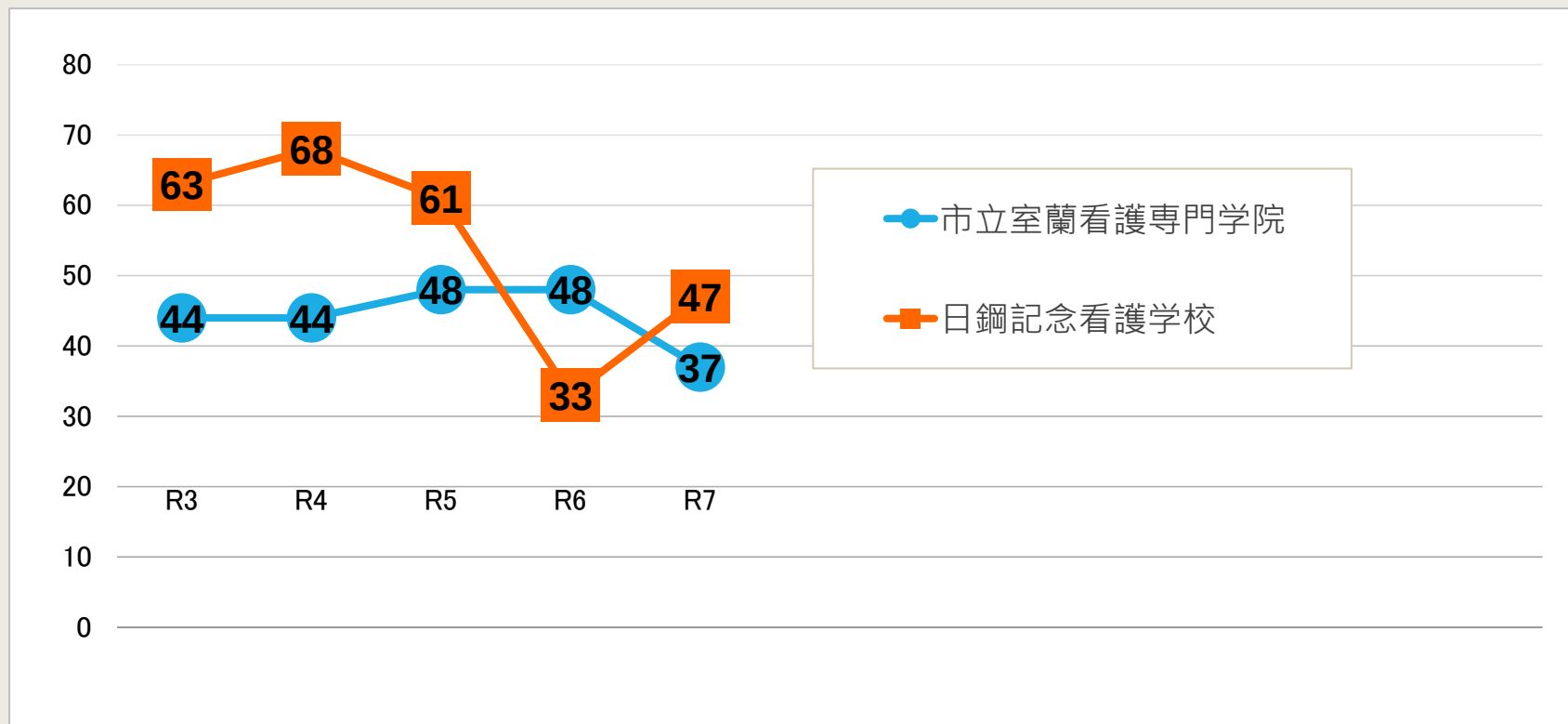
7名

西胆振

東胆振・日高

- * 伊達赤十字看護専門学校・王子附属病院看護専門学校 令和6年3月で閉校
- ・ **北海道内における胆振地域の看護学校の定員充足率が低く、課題となっている**

R3年～R5年の室蘭地域の看護学校の入学者推移



入学者減少の要因

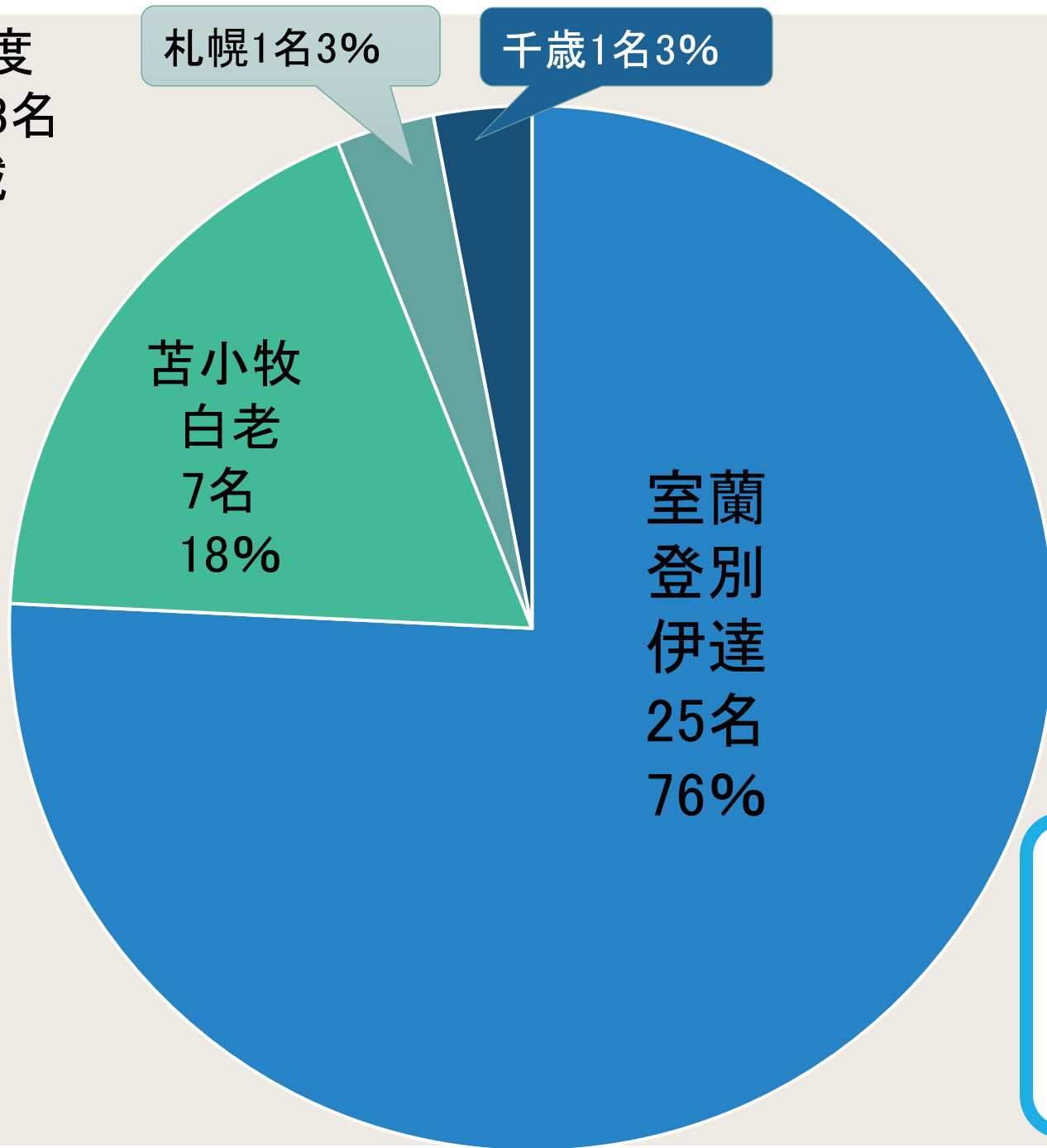
- 少子化、大学志向
- あらゆる職種に求人が増加し、給与面などの待遇も良好となる職種も増え、看護系の志願者が減少傾向
- 志願者の減少により札幌、千歳、恵庭、旭川、留萌、帯広などの地域の学生が地元など志望の地で入学できる状況となった。また、社会人も札幌などの都市圏を希望し、志望の大学や専門学校に合格できるようになった。
- 近隣看護学校や都市圏の学校の奨学金制度の充実
- 学習環境の完備が未充足（クーラーなど）



受験者・入学者動向

入学 試験	令和4年度 35期生	令和5年度 36期生	令和6年度 37期生	令和7年度 38期生
推薦 社会人1期	受験者 37名 入学者 36名	受験者 44名 入学者 36名	受験者 25名 入学者 24名	受験者 39名 入学者 38名 (内社会人2名)
一般 (前期) 社会人2期	受験者 48名 入学者 27名	受験者 33名 入学者 18名	受験者 18名 入学者 9名	受験者 15名 入学者 8名 (内社会人1名)
一般 (後期) 社会人3期	受験者 27名 入学者 5名	受験者 3名 入学者 2名	受験者 2名 入学者 0名	受験者 4名 入学者 1名 (内社会人0名)
入学者数	68名	61名	33名	47名

令和6年度
新入生33名
出身地域



男性
9名
社会人
0名

令和6年度在籍総数180名以上

令和7年3月1日 在籍総数 158名

1年生 第37期生34名（男性 9名）
（社会人 0名）

2年生 第36期生61名（男性 11名）
（社会人 6名）

3年生 第35期生63名（男性 10名）
（社会人 5名）

2.経営基盤の整備

1.学生募集活動の推進

①高校訪問及び社会人志願者への広報活動の拡充

- ・ 高校訪問41校、 高校進学説明会依頼3校

（室蘭東翔高校、海星学院高校、北海道大谷室蘭高校）

社会人対象進学説明会

- ・ 対面によるオープンスクール

学生企画による学校紹介・見学、看護技術体験

参加者：高校生62名 保護者12名 引率教員1名 計75名

午後～在校生保護者33名

- ・ 個別の学校見学会開催

個別対応10名(西胆振、社会人など)

2.経営基盤の整備

2.看護師国家試験合格率向上:

各学年の年間計画に基づく国家試験対策

3年生: 模試10回、業者集中講座5回、教員による補講、
模試低得点者への個別指導・面談、長期休暇時の補講
11月から学校利用20時迄延長

メディックメディア自己学習サポート(スマホ・PC活用)

2年生: 模試3回、業者集中講座3回、模試解き直し指導、教員
作成問題、模試低得点者への個別指導・面談

メディックメディア自己学習サポート(スマホ・PC活用)

1年生: 模試1回、「解剖生理学ポイントノート」を活用し講義
前後に学習と成果の提出・指導、解剖生理学小テストの
反復、自己学習方法未獲得者への個別指導・面談

看護師国家試験合格率の推移

回	受験者数	全国 合格率	当校 合格率
114	63,131 新卒 56,035	90.1	92.4 (既卒4名含む)
113	63,301	87.8	93.3 (既卒1名含む)
112	64,051	90.8	97.1 (既卒2名含む)
111	65,025	91.3	95.1 (既卒3名含む)
110	66,124	90.4	92.3

2月実施
新卒のみ
62名受験
58名合格
93.5%
(全国
95.9%)

令和6年度就職・進学状況

就職状況

- ・当法人 : 日鋼記念病院29名、天使病院(札幌)5名
- ・実習施設: 製鉄記念室蘭病院4名、三愛病院1名
- ・他施設 : JR札幌病院1名、JCHO北海道病院1名、恵佑会病院1名、徳洲会病院1名、
イムス札幌消化器中央総合病院1名、札幌清田病院1名、定山溪病院1名、
小樽市立病院1名、小樽協会病院1名、余市協会病院1名、伊達聖ヶ丘病院1名
JA倶知安厚生病院1名、留萌市立病院2名、日高徳洲会病院1名、
めぐみの病院1名、八雲総合病院1名、道外2名(東京・相模原)



進学状況 4名進学

- ・保健師 : 道立旭川高等看護学院市域看護学科1名
- ・助産師 : 神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科1名
スズキ病院附属助産学校1名
- ・大学編入: 独協医科大学看護学科3年次編入1名



3.学習環境の整備

- 校舎の整備及び施設管理:施設管理課との連携
- 感染対策:感染制御室との連携、感染対策ガイドライン(学内・臨地実習)
- 健康管理:学校医、健診センター及び臨床心理科との連携
- 遠隔授業の推進:講師の協力、システム総括室との連携
- 実習期間の短縮と日程変更:実習施設との連携
- 学内実習と臨床の場での実習:実習施設との連携
- 地域在住患者ボランティア協力による授業の充実
(統合技術演習Ⅲ等ボランティア協力者6名)
- 高等教育修学支援制度の活用(在校生への経済支援)
- 学生支援緊急給付金の活用(在校生への経済支援)
- 専門実践教育訓練給付制度の活用(社会人入学生への経済支援)

4.教育活動の質の向上

- 新カリキュラムの円滑な運営

令和6年度は、新カリ初の卒業生を送り出した！！

①授業（講義・演習・実習）の充実に向け関係部署との連携

②電子テキスト有効活用への対応

③カリキュラム評価に向けて

- 学校関係者評価委員会の開催により当校の強み・課題について示唆を得る
- 新任教員への支援（カリキュラム構築のための学習など）
- 研修への参加【対面7名・web15名】（延べ人数22名）
- 学術集会参加【対面6名・web1名】（延べ人数7名）

自己
研修

令和6年度自己点検・自己評価 結果

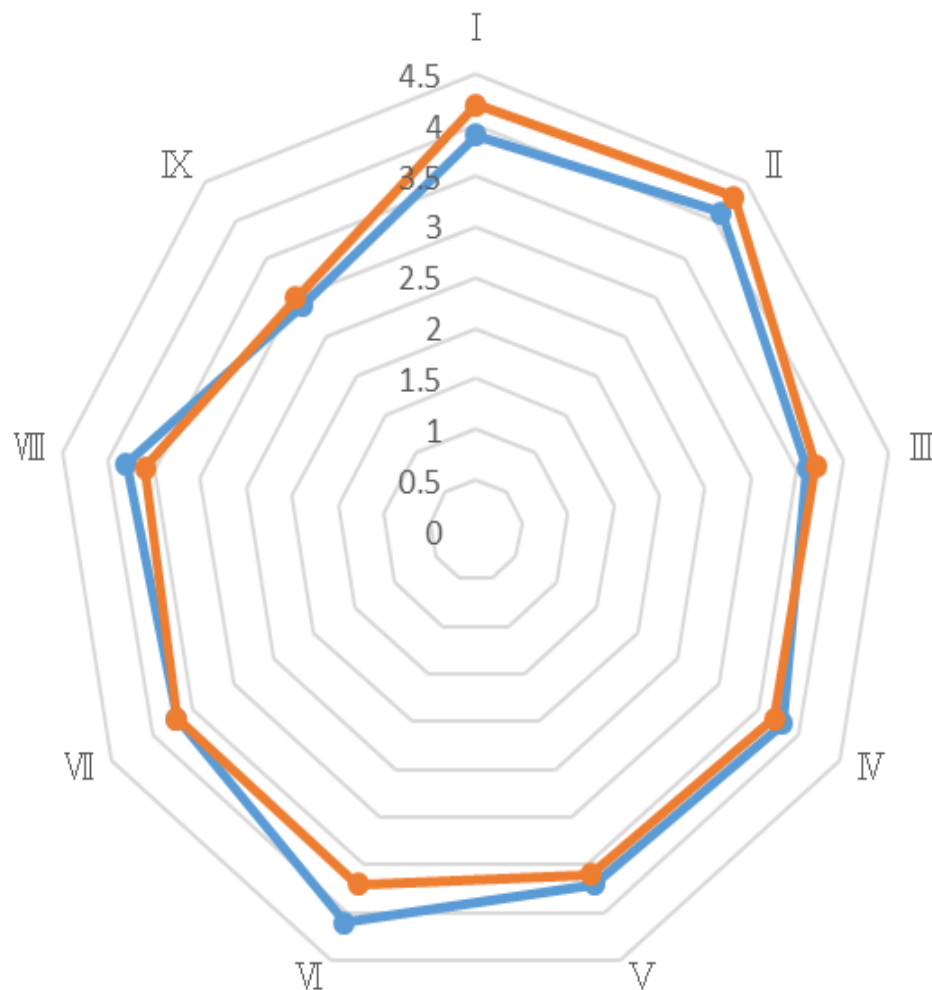
- ・ 調査対象 : 専任教員(教務主任含む)11名
- ・ 調査時期 : 令和7年2月末～3月
- ・ 調査内容 : 本校指定の自己点検・自己評価表
(9項目94質問)
- ・ 5段階評価 : 5点「そう思う」
4点「ややそう思う」
3点「あまりそう思わない」
2点「そう思わない」
1点「わからない」

9項目

- I. 教育理念・教育目的
- II. 教育目標
- III. 教育課程経営
- IV. 教授・学習(講義・
演習・実習)・評価課程
- V. 経営・管理過程
- VI. 入学
- VII. 卒業・就業・進学
- VIII. 地域社会・国際交流
- IX. 研究

自己点検・自己評価

令和6年度 令和5年度



I 教育理念・教育目的

評定平均が昨年度の4.2から3.9に下がり、前年度から課題としていた I-2「教育理念・目的の意識と周知：教育理念・教育目的は学生にとって学習の指針となるように具体的に明示され、実際に指針となっている」や I-5「学習・教育観と学生観：看護・看護教育・学生観について、教員の教育活動の指針となるように明示され実際の指針となっている」の他、I-6「教育理念・目的の評価：養成する看護師が卒業時点において、どのような資質を有するか明示し、その資質は社会に対する看護の質を保証するのに妥当である」についても課題となった。

I 教育理念・教育目的

- このことは、新カリキュラム構築を契機に見直しをした教育理念などが教育活動を進める中で現状の学生に合致しない面も出てきており、**教育活動の指針となるような具体的な表現**へ洗練させ、教員と学生が相互理解しうる指針をめざし検討が必要である。また、教員の退職や進学により、教育理念・教育目的を達成するための**専任教員数が充足状況にない中での教育活動**となったことも得点に影響したものと推察する。

Ⅱ 教育目標

昨年度よりやや得点が下がったが評定平均4.0以上と評価得点が高い傾向で推移しており、教育目標について理解した教育が出来ていると評価。得点が昨年度より特に下がったⅡ-5「教育目標の評価：看護実践者としての能力を育成する側面と学習者としての成長を促す側面から教育目標を設定している」について、教育目標が教員と学生が相互理解し目標達成に向けて進めていける指針となるよう、より現状に合致した明確な目標となるよう洗練させていく必要がある。また、教育理念・教育目的を達成するための専任教員数が充足状況にない中での教育活動となったことも得点に影響したものと推察する。

Ⅲ教育課程経営

評定平均が3.6と昨年度3.7と概ね同様であった。下位項目の中で特に平均得点が下がったのがⅢ-1「教育課程経営者の活動：教職員は教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している」が昨年度の4.2から3.5となり、得点が下降した要因の分析と共に教育課程の構造や関連性について共通認識できるように学習機会を設ける必要がある。また、Ⅲ-15「教育課程評価の体系1)単位認定の考え方：他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている」が昨年度の4.5から3.7へポイントが下がった。このことは単位認定や単位互換について学則に規定しているが公表はしておらず、社会のニーズもあり今後HPや学校案内などでも紹介していくよう検討が必要である。また、この評価内容の理解にむけて共通認識していくことも必要である。

Ⅲ教育課程経営

- 一方、Ⅲ-26・27・28・29「学生の看護実践体験の保障4) 学生からケアを受ける対象者の権利の尊重に関する下位4項目について、ポイントが全て4.0以上となり、**患者の権利保障や安全対策に向けた計画の強化した点が皆で共通認識できてきたと推察する。**課題となっているⅢ-19「教員が授業準備のための時間を取れる体制を整えている」やⅢ-20「教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている」については、covid-19での対応による業務量は減少したが、**教員の退職により業務量には変化がなく負担感なども高いままで認識されていることが推察される。**しかし、新たな教員も加わり業務量については負担が軽減していくと思われる。今後も授業準備の確保や教員研修などの参加について、改善に向け**教員のラダーの整理と共に研修の機会を増やすよう調整していく。**

Ⅳ教授・学習・評価過程

評定平均3.8と昨年度の3.7と概ね同様である。下位項目の中で特に平均得点が下がったのがⅣ-12「学生による**授業評価の機会を保証**している」が昨年度4.3から**3.8へポイントが下がっている**。学生の授業評価の保障については、学生への適切な学習支援や効果的なカリキュラム運用を進めるうえでも重要な情報となりうる。また、授業を洗練させるうえで学習者のニーズを把握するために必要な資料となる。そのため、**従来の方法について早急に見直ししていく必要がある**。さらに、**新カリキュラム3年を経て全体のカリキュラムの評価とも合わせて、教員皆で意見交換し適切な評価の基、よりよい改善を目指す必要がある**。下位項目「学習への動機づけと支援」のⅣ-17「**シラバスの提示や学習への指導**は、学生の学習への動機づけと支援になっている」が昨年度より得点ポイントが下がっており、**各授業科目の学ぶ意図など、より具体的に説明し学習の動機づけを強化していく必要がある**。

IV教授・学習・評価過程

- また、下位項目「授業内容間の関連と発展：学生の理解を効果的に促すために授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっている」についても昨年度より得点ポイントが下がっており、学生の理解を効果的に促すための授業内容の重複や整合性など見直しが必要である。
- 一方、授業の展開過程については、IV-8「学生に対し効果的な教育・指導を行うために、実習指導者や教員間の協力体制を明確にしている」が昨年度の平均得点3.3から3.6と得点ポイントが上がり、昨年度課題とし対策として進めた実習調整や臨床との指導における役割などの協力や調整が徐々に整備されつつあることが推察される。今後も臨床と協力し調整を進める必要がある。

V 経営・管理過程

評定平均3.7と昨年度の3.6よりやや得点ポイントが上がったが概ね同様の状況である。下位項目「設置者の意思・指針」について、2項目とも以前よりも得点が低いが昨年度より得点がやや上がり、**教職員が設置者や管理者の管理運営などの意思・指針について再認識しつつあると推察する。**「組織体制」について、V-5「**教職員の倫理規定が明確になっている**」が3.6と昨年度の4.1よりも**ポイントが下がり教職員の倫理規定についての見直しと整備を早急に実施する必要がある。**一方「施設・設備の整備」のV-9「**施設・設備は医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて計画的に整備改善を進めている**」、V-10「**学生および教職員にとっての福利厚生施設設備は、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備している**」が昨年度より得点が**上がった。**

V 経営・管理過程

- 。 一昨年度の夏の猛暑により学習環境が整わず体調を崩した学生が複数発生し、それらに対して対策を講じたことによる。

エアコンの設置は予算の関係もあり看護実習室のみの設置となっている。扇風機の設置を増やしたり、夏季の休暇の延長や時間割の工夫などの取り組みによるものと推察する。今後も熱中症対策への対応を工夫し、より良い学習環境を整えていけるよう検討していく。また、災害などの危機管理面については、避難訓練を継続し、教職員や学生が防災に関する意識が高まるよう進める。入学者確保に向けたオープンスクールは当校のアピールと学生間の交流を図るため重要な行事である。安全に運営し継続して取り組んでいく。

Ⅵ入学

- 評定平均が昨年度の3.7点から4.1点と上がり一昨年の得点に戻りつつある。令和6年度も看護専門学校を取り巻く環境は非常に厳しく、少子化・大学進学者の増加・都会志向、コロナ禍での看護職の過酷な労働イメージにより職業選択を躊躇するなど受験者確保に苦慮している。昨年度の状況をふまえ入試方法を見直し入学者もやや増加した結果による。今後も、地域の現役高校生を重点に社会人へのアプローチも継続して強化していく。

VII卒業・就業・進学

評定平均は前年度と変わらない。卒業生の5割程度が日鋼記念病院へ1割弱が同一法人の天使病院へ就職している。コロナ禍での来校制限により卒業生の来校が激減し口頭での情報は得られにくくなった。今後、同窓生の交流など同窓会活動の活発化や母校への里帰りなどの企画をし、卒業後の状況についての情報を得ていくことや就職先の病院や進学先の学校とも連携し実態調査を実施していく。

VⅧ地域社会・国際交流

評定平均が3.8と前年度3.6よりややポイントが上がった。地域社会と交流するための体制について、Ⅷ-1「社会との連携に向けて地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行ってる」とⅧ-2「本学校の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段、本学校から地域社会へ情報を発信する手段を持っている」の**評価得点が下がった**。このことは、地域社会への貢献に課題があり、**地域社会のニーズを把握する手段や発信する手段について、それらの情報を得、どのようなニーズがあるのか、それらに基づいて自校に何ができるか、そのための活動をどのように進めるのか等、地域貢献について検討していく必要がある**。

VⅧ地域社会・国際交流

- 一方、Ⅷ-3「地域社会における資源の活用：地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を本学校の学習・教育活動に取り入れている」の**評定平均が4.4と昨年度の4.1より上がっている。**

「子ども食堂」や地域の保健活動として「乳幼児健診」をはじめ、育児に関する室蘭市の「育児相談クラブやマタニティ教室」などの活動の場に参加し、**地域・在宅看護実習Ⅰや小児・母性看護学実習に取り入れている。**また、新たに登別市の育児相談会などの学習の場も調整中であり、**学習の場を拡大させていることが反映している**と推察する。

国際交流の体制整備が課題となっている。海外での就業や留学などにより、手続きの書類や海外業者とのやり取りなどの対応もあり、必要な手続きの明文化の整備をしていく。さらに海外での活動経験がある卒業生の状況を教職員・学生へも情報提供していく。

Ⅸ研究

評定平均が3.0から2.9へポイントが下がり、低値で推移している。特にⅨ-2「教育の研究活動の保障と評価：教員の研究活動を保証（時間的・財政的・環境的）している」が3.0から2.7へポイントが下がった。研究への関心はあるものの日常業務に追われ取り組めない状況への葛藤などもあると思われる。

教育の質向上を目指し、全教員が研究に取り組めるよう体制を整えていくよう検討していきたい。大学院（修士課程）へ令和6年度からの進学し研究について学んでいる教員もあり、学習のサポートを継続する。また、他教員へも研究的姿勢を身につけられるよう研究に関する学びの情報を共有できるよう調整していく。

質疑応答

令和7年度 学生支援トピックス 1

目次

1. 人事異動
2. 休養室・情報処理室にエアコン設置
3. 内府閣主催令和7年度大規模災害訓練に参加
:2年生24名、3年生9名
4. 急変時対応マニュアル作成、看護教員BLS研修会の実施
看護教員による緊急搬送訓練の実施
5. AEDの設置
6. 学生相談窓口の設置
7. 室蘭工大佐藤教授から生成AI活用法研修(2回実施)

R6.10月～

阿部はるひ
専任教員就任



田邊晴恵
専任教員就任



R7.3月～

山下教務主任就任



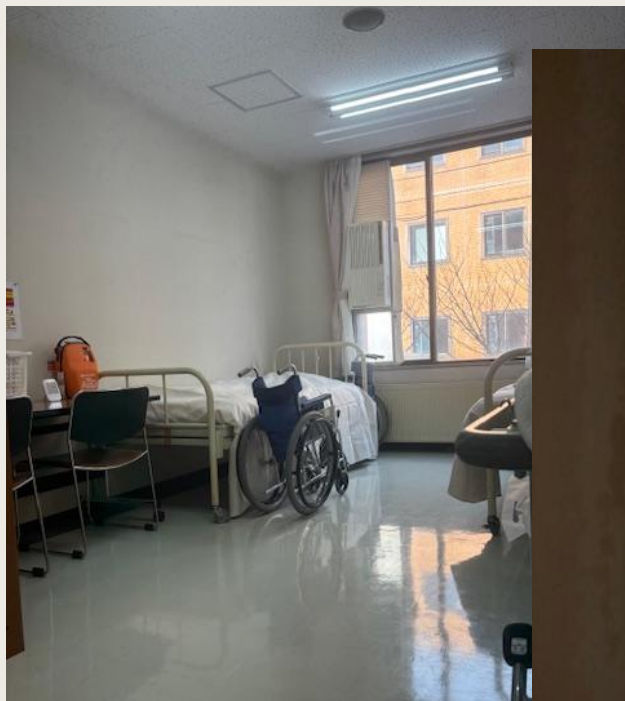
佐々木事務員着任



R7.4月～

山田事務長着任

2025.12.1

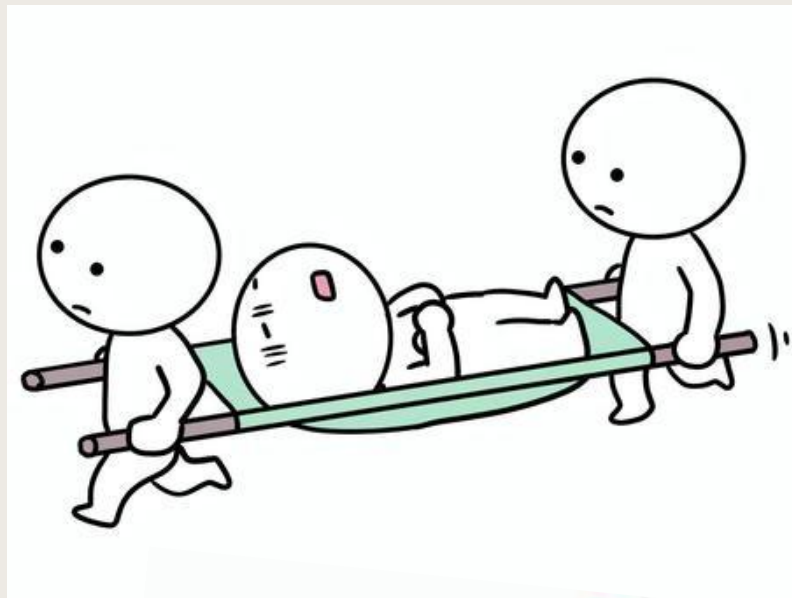


休養室

大規模災害訓練



教員救急搬送訓練



スクールカウンセラーです 2025 日鋼記念看護学校

◆ 話してみませんか？

いろいろな悩み事や問題を抱えたとき、不安でいっぱいになったとき、皆さんは誰に相談しますか？
家族や友だち、先輩、先生・・・、スクールカウンセラーもその選択肢に加えてください。
自分の気持ちや考えを言葉にしてみることは、客観的に見つめ直し整理することにつながります。今の自分が確認できると少し気持ちが軽くなり、対処方法が見えてくるかもしれません。

ハラスメント

人間関係のこと

友だち
家族

自分のこと

いらいらする
やる気が出ない 疲れてしまう
緊張して困ってしまう
あれこれ気になってしまう
自分自身のことをもっと知りたい

学校のこと

行きたくない
勉強が心配
将来のこと

その他

- ・心配なこと
- ・迷っていること
- ・不安なことなど
- ・ちょっと気になること・・・

体調のこと

頭痛や腹痛がある
吐きけがある
食欲のこと
睡眠のこと

◆ よろしくお願ひします ◆

スクールカウンセラーの渡邊です。

日鋼記念病院で心理療法士（公認心理師）として、不安や抑うつ傾向の方、がんや緩和ケア領域の患者・家族とのカウンセリングを担当しています。また、室蘭市内の小中学校にスクールカウンセラーとしても勤務しています。

スクールカウンセラー 渡邊 史子

生成AI研修 7月30日・8月4日

—第1回 生成AIに関する基礎知識—

- ・AIって何？生成AIって何？
- ・生成AIの基本
- ・いろいろな生成AI
- ・無料版と有料版の違いって？
- ・ChatGPTを使ってみよう
- ・生成AIは博識
- ・生成AIはうそをつく
- ・生成AIを賢く使うには？



—第2回 教育・学習での生成AI活用の可能性—

- ・教育におけるChatGPTno活用事例
- ・学習におけるChatGPTno活用事例
- ・AI導入のメリットデメリット
- ・AI活用に必要なリテラシー
- ・活用の例をみてみよう

舟山相談役



70才(古希)おめでとう！